

行 動 宣 言

—‘Wood First(ウッドファースト)社会’を実現し、日本の森林を守るために—

地球温暖化に伴う異常気象や循環型社会への要請の高まりなどを背景として、森林・林業の活性化や木材とりわけ国産材の活用に対する国民の関心はかつてなく高まっている。また、国内森林は成熟利用期を迎えており、潤沢な資源を活用しながら再生産を行い、林業・木材産業が成長産業へと変革するための重要な時期を迎えている。

一方、木材利用の拡大なくして森林・林業の活性化は成しえないという認識の高まる中で、地球温暖化防止や地域社会の活性化等に対する国民の期待に応え、木材利用の拡大と日本林業の活性化を実現していくためには、戦後続いてきた街づくりにおける木材から非木材への流れを変え、木材を優先して活用する社会‘Wood First (ウッドファースト) 社会’を実現していくことが重要な課題となっている。

そして、こうした動きを現実のものとしていくための第一歩は、林業・木材産業関係者自らが大局的見地に立ち、課題を共有し、一体となって国民の理解を得ていくための活動に取り組んでいくことだと考えている。

こうした認識に立ち、一般社団法人全国木材組合連合会と全国森林組合連合会は、‘Wood First (ウッドファースト) 社会’の実現とそれを通じた日本の森林・林業の活性化のため、直面する下記の課題に対し大局的見地に立ち、従来の枠組みを超えて協力・行動していくことを宣言する。

記

- 1 ‘Wood First (ウッドファースト) 社会’の実現に向けた国、地方自治体等への働きかけ
- 2 木材利用拡大とそれを通じた林業の活性化に対する国民理解の醸成への取り組み
- 3 ‘Wood First (ウッドファースト) 社会’づくりへの支援の輪を広げるための取り組み
- 4 国産材への信頼と安定供給体制の整備へ向けた連携
- 5 意見交換の場の設定

平成26年10月15日

一般社団法人全国木材組合連合会会長

全国森林組合連合会会長

吉条 良明

佐藤 重芳